

PICK UP NEWS

そばめし 2万5千食 自主回収

異物混入で・・・マルハニチロ

マルハニチロは12月18日、冷凍食品「あけぼの神戸名物そばめし 450g」に約3cm四方のプラスチック片が見つかったため、約2万5千食を自主回収すると発表した。健康被害は現時点で確認されていないという。異物が入っているとの電話は12月8日～18日に6件寄せられた。同社がこの商品を作っている山形県大江町の工場を調べたところ、炊いたお米を冷やすファンのカバーが壊れ、混入したことが分かった。回収対象は、賞味期限が2015年10月23日で製造番号の左4桁が1451～2140のもの。

朝日新聞 12月18日配信

「厄介者」から「森の恵み」に エゾシカ肉、学校給食で

野生シカの肉を学校給食使う試みが広がっている。シカは農林業にとっては害獣をもち、厄介者だが、採用した学校では地産地消を通じ、動物の命や地域の環境を考慮するきっかけにもなっている。北海道置戸町こどもセンターで、エゾシカ肉を給食で出している。ハンバーグやカツレツ、竜田揚げ・・・80人の園児からは「やわらかい」「ラム肉より好き」と好評という。同園は地産地消にこだわり、農産物は地元から買い、園児も野菜を育てる。町の給食センターの栄養士らが自生のフキも採取し、「大地の恵み」として給食に使う。これに「森の恵み」としてシカ肉を加えた。鉄分が豊富で低脂肪・高たんぱく。献立の幅を広げる新しい食材としてとらえた。



イメージです。
エゾシカハンバーグ

エゾシカ
ニホンシカの北海道にのみ生息する亜種。ニホンシカよりも体が大きい。大きいオスは体重130キロ近いものも。

新年あけましておめでとうございませう
平成二十七年も本紙を通じて様々な
情報を発信して参りたいと存じます



県央かわら版

第25号

平成27年1月1日発行

発行所

一般社団法人県央研究所

要警戒

ノロウイルス・食中毒多発中

広島市のホテルで 22人食中毒・・・ノロ検出

広島市のホテルの宴会場で会食をした2組の男女計22人が吐き気や腹痛などの食中毒症状を訴え、このうち4人からノロウイルスが検出された。広島市食品保健課は12月23日に発表した。発表では、2つのグループは12月18日夜、ホテルの会食で刺身や天ぷら、握り寿司などを食べた。

読売新聞 12月24日配信

沼津の食堂で 38人ノロウイルス

沼津市の食堂で食事をした2グループ81人のうち男女38人が下痢や腹痛、嘔吐の症状を訴え、23人が医療機関を受診したと静岡県衛生課が12月18日発表した。重傷者はいなかった。食事は海鮮丼や刺身、桜えびのかき揚げなどだった。患者22人と従業員8人からノロウイルスが検出された。

産経新聞 12月18日配信

名古屋のスーパー銭湯で ノロウイルス24人に症状

名古屋市の1日スーパー銭湯で料理を食べた男女24人が下痢や嘔吐などの症状を訴え、ノロウイルスが検出された。発表では、24人は12月28、29日に刺身やサラダ、春巻きなどを食べており、市は食中毒と断定。名古屋市の現在、ノロウイルス食中毒注意報を発令し、手洗いの徹底や、食品の十分な加熱など予防策を呼びかけている。

池袋の焼肉店で 52人が食中毒・・・ノロ検出

東京・豊島区池袋の焼肉店で、12月5日から7日までに食事をした家族連れら52人が相次いで吐き気や下痢などの症状を訴え、一部の客からノロウイルスが検出された。いずれも焼肉やサラダ、デザートなどが食べ放題のコースを注文していた。

テレ朝ニュース 12月17日配信

愛媛の居酒屋で食中毒・・・ 7人からノロウイルス

愛媛県は今治市の居酒屋で12月17日に飲食した2グループ37人のうち、男女11人が下痢や嘔吐などの食中毒の症状を訴えた。発表された。うち7人からノロウイルスを検出した。

産経WEST 12月21日配信

ノロウイルス以外にも・・・ 釣った「フグ」で食中毒

姫路市保健所は1月14日、自分で釣ったフグを調理して食べた同市男性が食中毒を訴え、緊急搬送された。発表された。男性は1月10日、海で体長20センチのフグを釣り自宅調理し、夕食として妻と娘と3人で食べた。翌日未明、男性だけが手足のしびれや嘔吐が回らなくなるなどの症状が出たため、1月13日まで入院していた。

神戸新聞 1月14日配信

野菜ジュースにティッシュ

現段階では自主回収はせず

茨城県古河市の飲料メーカー「トモエ乳業」が製造し、昨年11月に東京都足立区のスーパーで販売された野菜ジュースにティッシュペーパーが混入していたことがわかった。同社によると、このジュースは「10種の野菜&フルーツ」1リットル入りの紙パックで、関東地方で販売されている。11月に購入した客から指摘を受け、外部機関に依頼して調べたところ、パック内にティッシュペーパー2枚が丸まった状態で混入していたという。同社の工場では、パックにジュースを詰める際には工場に人が立ち入れないようにしており、原因を特定できなかったという。同社お客様相談室は「他に同様の事例はなく、現段階では自主回収は考えていない」と話している。

読売新聞 1月7日配信

冷凍パスタにゴキブリ混入

日清食品冷凍74万6千食回収

日清食品冷凍は冷凍パスタにゴキブリが混入していたとして同じ時期に製造された商品の回収を始めた。今回静岡工場が昨年10月21日に製造した商品から異物混入の指摘が消費者から相次いだ。同社で検査した結果、ゴキブリと推定される虫の一部が混入していることがわかった。具材に使用している野菜から混入した可能性が高いと判断し、10月21日製造分だけでなく、10月にこのラインを使って製造した冷凍パスタ3商品を回収する。

読売新聞 12月13日配信



絶賛取り扱中
嘔吐物処理に必要なものをセットした
嘔吐物処理キット
1セット 1500円
観て・聞いて・体験するノロ劇場
「野呂家」にノロ大王がやってきた
出張公演(好演)・講演承ります
お問合せ・ご利用は
株式会社 県央研究所へ

皆様の情報をお待ちしております
県央かわら版では、食品環境等を中心に情報を発信しております。取り上げていただきたいものや、旬な話題等がありましたら、お気軽にご連絡ください。一般社団法人県央研究所 県央かわら版事務局
電話 0256(46)8311
FAX 0256(46)8310
Eメール info@kenoh-labo.or.jp